

2013年度

統合実習

[表紙1]

【提出記録用紙】

- 1 実習評価表
- 2 課題レポート
- 3 日々の体験記録
- 4 事前レポート

学生証番号： KF _____

学生氏名： _____

実習期間： 月 日 ~ 月 日

実習施設名： _____

担当教員名： _____

指導者名： _____

看護学科3年 専門教育科目

2013年度

統合実習

[表紙2]

【提出記録用紙】

- 5 実習計画表
- 6 問題リスト
- 7 看護過程展開用紙
- 8 (アセスメント用紙1)
- 9 (アセスメント用紙2)

学生証番号：	KF
学生氏名：	
実習期間：	月 日 ~ 月 日
実習施設名：	
担当教員名：	
指導者名：	

看護学科3年 専門教育科目

授業科目名：統合実習

単位／時間：2単位／90時間

対象／開講：11KF／後期

担当教員：吉田 礼子、他看護系全教員

実 習 要 綱

目 的

看護チームの活動に参加し看護実践能力を高めるとともに、これまで学んできたことを統合して看護の本質を考え、看護活動に活かすことができる。

中核目標

- I 看護チームにおける看護活動に参加し、看護ケアのマネジメントについて学ぶ。
- II チームとの連携を考慮し、受け持ち患者の看護を計画・実践することができる。
- III 自己の課題を明らかにし、看護実践能力を高めることができる。
- IV 看護実践と看護の本質とを結びつけて考えることができる。

中核目標Ⅰ 看護チームにおける看護活動に参加し、看護ケアのマネジメントについて学ぶ。

行 動 目 標

1. 24時間の患者の生活、病棟の看護活動について述べるができる。
2. 参加する看護チームの看護活動を把握し、記述することができる。
3. チーム内の患者に関心を寄せ、必要な情報を知った上で看護活動に参加できる。
4. 看護師の行っている看護活動の判断について説明できる。
5. 受け持ち患者の看護を行う際、チームの看護活動も視野に入れて行動することができる。
6. 日々の行動に際して、優先順位・時間配分などを考えた自己の活動の調整ができる。
7. 予想外の事態および看護活動の重複に対して、落ち着いて対処できる。
8. 自己が看護活動を実践する際の判断基準を掴み述べることができる。

中核目標Ⅱ チームとの連携を考慮し、受け持ち患者の看護を計画・実践することができる。

行 動 目 標

1. 受け持ち患者の必要な情報を、優先順位を考え効率的に収集できる。
2. 情報の意味・関連を考えながら、チームの計画を踏まえて看護問題を抽出することができる。
3. 看護問題に対し、患者目標・具体策を立案することができる。
 - 1) 根拠に基づいて考えられる
 - 2) 安全・安楽・自立・個別性に配慮できる
 - 3) 看護チーム内で実施可能かを考慮できる
4. 患者の反応をとらえ、その人にあった方法で実施できる。
5. 実施結果をアセスメントし、報告できる。
6. 実施の事実を記録し、評価することができる。
7. 計画の修正を行うことができる。
8. 継続的な看護に向けて、看護チームと患者の情報交換を行うことができる。

中核目標Ⅲ 自己の課題を明らかにし、看護実践能力を高めることができる。

行 動 目 標

1. 自己の強みと課題を自覚し、成長に向けて行動することができる。
2. 対象の尊厳を尊重した関わりができ、適切な関係を築くことができる。
3. 看護に必要な他者と適切な関係を築くことができる。
4. 対象の健康状態に適した看護を計画的に行うことができる。
5. 看護技術の修得状態を確認し、向上を図ることができる。
6. 看護チームの一員として、自己の考えを積極的に伝え連携を図ることができる。
7. 主体的に自己の中に問いをたて、探求していくことができる。
8. 自己の成長を確認し、今後の方向性を述べることができる。

中核目標Ⅳ 看護実践と看護の本質とを結びつけて考えることができる。

行 動 目 標

1. 看護の本質に基づいて自己の看護観を明確にできる。
2. 看護師が自己の看護観をどのように実践に反映させているのか把握し述べることができる。
3. 自己の看護観を患者の看護にどのように生かしたのか述べることができる。
4. 看護実践上生じた戸惑いや疑問を、看護の本質に照らして解決する姿勢が持てる。
5. 自己の看護観を今後の看護活動にどのように結び付けていくか述べることができる。

I 実習方法

1. 事前レポート：テーマ「統合実習に臨むにあたって」。内容に「自己の看護実践能力に対する振り返り」と「看護の本質についての自己の考え」を含む。
2. 夜間を含めた 24 時間の患者の生活・病棟の看護活動について看護師より説明を受ける。
3. 所属する看護チーム内の全患者の概要を把握して、看護師とともに行動し看護活動に見学・参加する。ただし、当日の病棟リーダー看護師の看護活動は除く。
4. 看護活動の見学・参加に際しては、担当看護師より適宜必要な説明を受け、終了時は看護活動の判断について説明を受けて対話をする。(10 分程度)
5. 情報収集に関しては、看護師からの説明や申し送りを聞くとともに、自らも主体的に行動する。
6. 1 週目後半からは患者を受け持ち、その人の看護を優先的に実施しながら看護チームの活動に参加する。(受け持ち患者は原則 1 名とする)
7. 受け持ち患者の看護過程の展開は、問題リスト、看護過程展開用紙を使用する。アセスメント用紙 1・2 の使用は任意とする。
8. 受け持ち患者の看護にあたっては、チームの中で実現の可能性を協議し、助言を受けて計画立案し、看護師と共に実施する。
9. 日々の体験記録は、目標に照らし 1 日の気付きと学びを記載する。また、第 1 週目の木曜日は、学びの評価として「自己の課題」への取り組み状況を含め記載する。
10. 最終カンファレンス：テーマ「看護の本質－看護チームへの参加を通して考えたこと－」
カンファレンスの方法は、各グループで決定する。
11. 実習時間：8:30～16:30
12. 事後レポート：テーマ「看護の本質－看護チームへの参加を通して考えたこと－」

II 実習日程

※文末参照

III 実習記録

1. 実習計画表（様式 1-1、2）
担当する看護チームの主な活動内容を「チーム全体の活動」欄に、看護師と同行して見学・参加する看護活動を「自己の行動計画」に記載する。患者を受け持った後も「チーム全体の活動」は同様とし、「自己の行動計画」に受け持ち患者への看護活動を含めた自己の行動の計画を記載する。患者の氏名は記号化し、個人情報の保護に努める。
2. チーム患者把握表（様式 2）
各自が、必要と考える情報を自由に記載する。情報は適宜追加・修正する。
チーム患者把握表は病棟外に持ち出してはならない。実習終了時、シュレッダーなどを用いて適切に処理する。
3. 日々の体験記録
4. 問題リスト
5. 看護過程展開用紙
6. アセスメント用紙 1・2（任意）
7. 実習評価表

IV 記録物の提出

1. 実習最終日の実習終了時

V 実習評価

1. 東海大学医療技術短期大学実習に関する細則の規定により、実習評価は実習日数の3分の2以上を出席したものを対象とする。
2. 評価は、実習の全プロセスを対象とし、評価表に基づいて行う。
3. 最終評価面接は、原則として学生・臨床指導者・担当教員の三者で行う。その際、学生は評価表に沿って自己評価を記載して面接に臨む。
4. 最終評価は、学生の自己評価、臨床指導者評価を踏まえ、担当教員が行う。評価はS・A・B・C・D・Eで判定する。

※実習日程

日程	曜日	午前	午後
事前		実習オリエンテーション（4月・9月）	
		事前学習・担当教員との打ち合わせ・レポート提出	
1日目	月	病棟 オリエンテーション	参加チームの決定 チーム内の患者への 挨拶 情報収集 15:00～16:30 カンファレンス 今後に向けての 疑問質問、相談 翌日の病棟および自己 の計画確認
2日目	火	看護活動の見学・参加 情報収集（チーム内の患者） ・チームの申し送り終了まで看護師とともに行動（カンファレンス任意） ・翌日の病棟および自己の計画確認	
3日目	水	看護活動の見学・参加 情報収集（チーム内の患者）	15:00～16:30 カンファレンス 翌日の病棟および 自己の計画確認
4日目	木	看護活動の見学・参加 情報収集（チーム内の患者）	
5日目	金	受け持ち患者のアセスメント・問題リスト作成	
6日目	月	受け持ち患者の看護計画の確認	
7日目	火	ケアの実施	
8日目	水	チームの看護活動の見学・参加	
9日目	木	最終カンファレンス	
10日目	金	面接・記録の整理	記録の整理

* 翌日の計画確認・作成は時間内に行う。

* 看護活動への見学・参加にあたっては、必ず事前学習をして臨む。特に検査・処置などに際しては、目的や注意事項を述べられるよう学習する。

* 受け持ち患者の報告は、指定時間までに担当看護師に行う。

* 実習日程に関しては、状況により調整は可能とする。

統合実習 実習評価表

学生証番号：

氏 名

実 習 期 間：

実習場所：

目 的		看護チームの活動に参加し看護実践能力を高めるとともに、これまで学んできたことを統合して看護の本質を考え、看護活動に活かすことができる。										
項 目		自己評価	指導者 評価	教員評価	項 目		自己評価	指導者 評価	教員評価			
中核目標Ⅰ	看護チームにおける看護活動に参加し、看護ケアのマネジメントについて学ぶ。	良 い	ふ つ う	要 努 力	良 い	ふ つ う	要 努 力	良 い	ふ つ う	要 努 力		
1.	24時間の患者の生活、病棟の看護活動について述べることができる。	___	___	___	4.	対象の健康状態に適した看護を計画的に行うことができる。	___	___	___			
2.	参加する看護チームの看護活動を把握し、記述することができる。	___	___	___	5.	看護技術の修得状態を確認し、向上を図ることができる。	___	___	___			
3.	チーム内の患者に関心を寄せ、必要な情報を知った上で看護活動に参加できる。	___	___	___	6.	看護チームの一員として、自己の考えを積極的に伝え連携を図ることができる。	___	___	___			
4.	看護師の行っている看護活動の判断について説明できる。	___	___	___	7.	主体的に自己の中に問いをたて、探求していくことができる。	___	___	___			
5.	受け持ち患者の看護を行う際、チームの看護活動も視野に入れて行動することができる。	___	___	___	8.	自己の成長を確認し、今後の方向性を述べるることができる。	___	___	___			
6.	日々の行動に際して、優先順位・時間配分などを考えた自己の活動の調整ができる。	___	___	___	中核目標Ⅳ	看護実践と看護の本質とを結びつけて考えることができる。	良 い	ふ つ う	要 努 力	良 い	ふ つ う	要 努 力
7.	予想外の事態および看護活動の重複に対して、落ち着いて対処できる。	___	___	___	1.	看護の本質に基づいて自己の看護観を明確にできる。	___	___	___			
8.	自己が看護活動を実践する際の判断基準を掴み述べることができる。	___	___	___	2.	看護師が自己の看護観をどのように実践に反映させているのか把握し述べるができる。	___	___	___			
中核目標Ⅱ	チームとの連携を考慮し、受け持ち患者の看護を計画・実践することができる。	良 い	ふ つ う	要 努 力	3.	自己の看護観を患者の看護にどのように生かしたのか述べるができる。	___	___	___			
1.	受け持ち患者の必要な情報を、優先順位を考え効率的に収集できる。	___	___	___	4.	看護実践上生じた戸惑いや疑問を、看護の本質に照らして解決する姿勢が持てる。	___	___	___			
2.	情報の意味・関連を考えながら、チームの計画を踏まえて看護問題を抽出することができる。	___	___	___	5.	自己の看護観を今後の看護活動にどのように結び付けていくか述べるができる。	___	___	___			
3.	看護問題に対し、患者目標・具体策を立案することができる。	___	___	___	目 標 達 成 度			___	___	___		
1)	根拠に基づいて考えられる	___	___	___	出 欠 席	出席	欠席	遅刻	早退			
2)	安全・安楽・自立・個性に配慮できる	___	___	___	自 己 評 価	サイン						
3)	看護チーム内で実施可能かを考慮できる	___	___	___								
4)	患者の反応をとらえ、その人にあった方法で実施できる。	___	___	___								
5)	実施結果をアセスメントし、報告できる。	___	___	___								
6)	実施の事実を記録し、評価することができる。	___	___	___	臨 床 指 導 者 評 価	サイン						
7)	計画の修正を行うことができる。	___	___	___								
8)	継続的な看護に向けて、看護チームと患者の情報交換を行うことができる。	___	___	___								
中核目標Ⅲ	自己の課題を明らかにし、看護実践能力を高めることができる。	良 い	ふ つ う	要 努 力						良 い	ふ つ う	要 努 力
1.	自己の強みと課題を自覚し、成長に向けて行動することができる。	___	___	___	教 員 評 価	サイン						
2.	対象の尊厳を尊重した関わりができ、適切な関係を築くことができる。	___	___	___								
3.	看護に必要な他者と適切な関係を築くことができる。	___	___	___								
総合評価						S ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E						

実習計画表

月 日 () (日目 / 週目) 氏名:

週間 実習目標		
本日の 目標		
	チーム全体の活動	自己の行動計画
8 : 30		
16 : 30		
備考		

実習計画表

月 日 () (日目 / 週目) 氏名 :

本日の 目標		
	チーム全体の活動	自己の行動計画
8 : 30		
16 : 30		
備考		

